

市議会だより

ぬまづ

令和元年5月15日
第222号



沼津の春の風物詩 「大瀬まつり・第31回内浦漁港祭」

平成31年度 予算のあらまし

- 一般会計・特別会計・企業会計の予算を可決しました …… P.2～4

市政について問う！

- 17人の議員が一般質問(代表質問・個人質問)を行いました …… P.6～10

定例会の 主な内容

第 16 回（2 月）定例会は、2 月 8 日に開会し、3 月 18 日までの 39 日間にわたり開催しました。この議会では、市長から平成 31 年度の施政方針が述べられた後、平成 30 年度関係議案、平成 31 年度関係議案等の審議をそれぞれ行い、いずれも原案のとおり議決しました。また、7 つの会派から市長の施政方針に対する代表質問が行われました。さらに、10 人の議員から個人質問が行われました。

ここでは、平成 31 年度の一般会計、特別会計（5 事業）及び企業会計（3 事業）の予算審議、歳入・歳出予算額等の主な内容をお知らせします。

特 別 会 計

特別会計は、国民健康保険や介護保険など特定の事業を行う場合に、保険料などの特定の収入でその支出を賄うものです。

会 計	平成 31 年度予算額	平成 30 年度予算額	増減率
国民健康保険事業	216 億 6,500 万円	214 億 4,600 万円	1.0%
土地取得事業	5 億円	4 億 6,700 万円	7.1%
介護保険事業	162 億 8,900 万円	158 億 6,600 万円	2.7%
簡易水道事業	3,200 万円	1,480 万円	116.2%
後期高齢者医療事業	25 億 3,600 万円	24 億 8,800 万円	1.9%
合 計	410 億 2,200 万円	402 億 8,180 万円	1.8%

企 業 会 計

企業会計は、地方公営企業法の適用を受けて、公営企業会計による独立採算制で行う会計です。

会 計	平成 31 年度予算額	平成 30 年度予算額	増減率
病院事業	130 億円	126 億 1,700 万円	3.0%
水道事業	55 億 4,500 万円	53 億 5,100 万円	3.6%
下水道事業	93 億 7,800 万円	89 億 5,100 万円	4.8%
合 計	279 億 2,300 万円	269 億 1,900 万円	3.7%

特別会計企業会計予算決算委員会での主な質疑

問 国民健康保険の一般被保険者療養給付費が、平成 30 年度に比べ、約 1 億円増加している理由は。

答 一般被保険者療養給付費は、県の推計値をもとに算出したものであり、被保険者数は減少が見込まれるものの、高齢化等により 1 人当たりの医療費が年々増加していることや、消費税率の引き上げを見込んだ結果、増額となったものである。

問 土地取得事業における財産貸付収入の内容は。

答 沼津駅周辺総合整備事業促進用地を、静岡県方法務局に 511 万 2,000 円で、沼津市振興公社に 65 万 9,000 円

で、静岡地方検察庁に 56 万 8,000 円で、それぞれ貸し付けるものなどである。

問 平成 31 年度の沼津市立病院の予算の特徴は。

答 資本的支出については、放射線治療装置を、より精度の高い治療が可能な装置に更新するため、建設改良費を 4 億 2,745 万 1,000 円増額した。また、収益的支出については、看護師の確保が進んだことなどにより、給与費を 1 億 6,213 万 5,000 円増額した一方で、材料費や経費の削減に取り組むことにより、県東部の基幹病院として必要な医療サービスを提供しながら経営の安定化に取り組むための予算編成

とした。

問 医師確保の見通しは。

答 平成 31 年度は、常勤医師のいない腎臓内科、また救急科及び麻酔科の医師を重点的に確保していきたいと考えており、厳しい状況ではあるが、見通しは十分にあると考えている。

問 水道事業における管路の漏水対策は。

答 管路の漏水対策は有収率向上のためには重要だと認識しており、老朽化した管路の更新を計画的に行っていくとともに、漏水調査の範囲をさらに拡大し、漏水の早期発見に取り組んでいく。また、市民

から漏水情報が寄せられた場合には昼夜を問わず迅速に対応するよう努めていく。

問 下水道事業の経費回収率は経営状況の指標として重要だと考えるが、経費回収率の見込みは。

答 平成 31 年度における経費回収率は 75%を見込んでいる。これは、沼津市下水道ビジョンにおける今後 5 年間の事業進捗を踏まえ、平成 31 年 4 月 1 日からの下水道使用料改定による改定後の収入と、汚水処理経費を見込んだ結果、平成 31 年度からの 5 年間平均の経費回収率の目標を 75%に設定したことによるものである。

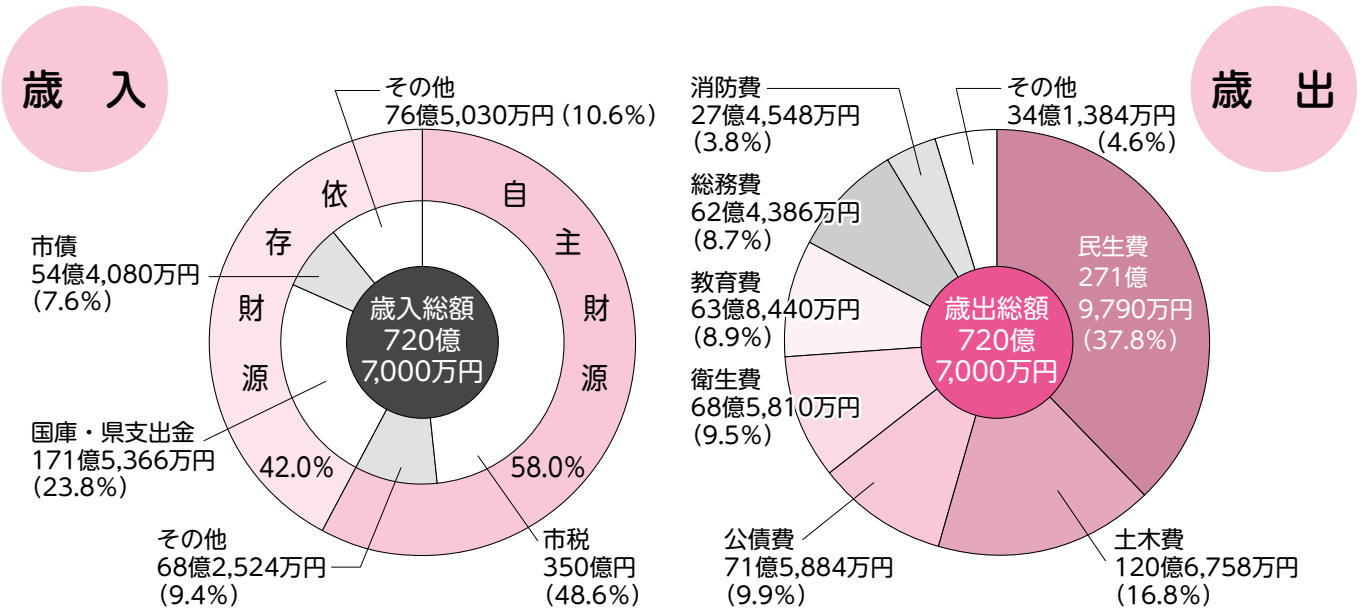
平成31年度予算を可決しました！

総額1,410億1,500万円

一般会計

一般会計は、市民税などの市税を主な財源として、道路や学校の整備、福祉やごみの処理などの事業を行うための会計です。

平成 31 年度予算額	平成 30 年度予算額	比較増減	増減率
720 億 7,000 万円	714 億 5,000 万円	6 億 2,000 万円	0.9%



一般会計予算決算委員会での主な質疑

問 安全な地域づくり推進事業の内容は。

答 近年、気候変動により洪水の発生頻度が高まっていることから、狩野川、黄瀬川、沼川、高橋川及び新中川において、考え得る最大規模の降雨に伴う洪水により、浸水が想定される区域を対象として、浸水状況の分析を行った上で避難シミュレーションを実施し、避難対象者や避難手段、避難先、避難のタイミングなどを整理した洪水避難対策方針を作成するものである。

問 がん検診の受診率を向上させ、がんの早期発見、早期治療につなげる新たな取り組みは。

答 胃がん検診については、精度の高い内視鏡検査を選択できる対象年齢を55歳から50歳に引き下げることで対象者を約1万4,000人拡大し、また、子宮頸がん検診については、精度が高く検査時間が短いLBC法という検査方法を導入することで、検査を受けやすい環境を整備していく。

問 沼津御用邸記念公園を活用した誘客の取り組みは。

答 改元の記念事業として、沼津御用邸記念公園において、明治44年に製造された貴重な馬車を宮内庁から借用し、誘客の目玉として展示するものである。また、平成31年

4月から6月にかけて実施される静岡デスティネーションキャンペーンを好機と捉え、観光客が、沼津御用邸記念公園を初め、市内の観光施設にも回遊できるようさまざまな取り組みを実施していきたいと考えている。

問 旧静浦東小学校のプールを改修し、スキルパーク（スポーツ自転車等練習スペース）の整備を行う目的は。

答 スキルパークを整備することにより、サイクリストの拠点となっているNUMAZUサイクルステーション静浦東との相乗効果を生み出し、利用者数の増加が期待できると考えている。また、近隣市町

にはない施設であるため、話題性も高く、本市のサイクルツーリズムによる観光振興に大きな効果をもたらすものと考えている。

問 新貨物ターミナル土地収用関連事業費の内容は。

答 新貨物ターミナル用地の取得のため、土地収用法に基づき土地収用の裁決を求める裁決申請書及び土地の明け渡し裁決を求める明渡裁決申立書を作成する費用が主なもので、静岡県収用委員会に対して、事業認定の期限である平成31年9月20日までに、それらの申請書類等を提出できるように準備を進める予定である。

平成31年度予算の主な事業

第 16 回（2 月）定例会で可決された平成 31 年度予算の中から、主な事業を紹介します。



同報無線 デジタル化 整備事業

▲同報系防災行政無線のデジタル化を行います

予算額

1 億 4,180 万円

防災情報や重要な行政情報を伝達するための同報系防災行政無線について、従来のアナログ方式からデジタル方式へ変更するための工事を計画的に進め、情報伝達体制の機能強化を図ります。

予算額

1 億 6,987 万円

情報機器整備事業

子供たちが情報社会に主体的に対応できる「情報活用能力」の育成を図るため、中学校の全普通教室に大型ディスプレイを導入するなど、情報教育に係る環境整備を進めます。



▲情報活用能力の育成を図ります

新貨物ターミナル 土地収用関連事業

予算額

8,690 万円



▲新貨物ターミナルの用地取得を進めます

鉄道高架事業を推進するため、新貨物ターミナルの用地取得に向けて、土地収用法に基づく手続を進めるための土地・物件調書の作成などを行います。

中学校施設 空調設備整備事業

予算額

2,343 万円



▲エアコンの整備を進めます

市内の全小中学校の普通教室等にエアコンを整備するため、先行して進めている小学校に続き、中学校の整備に向けた実施設計を行います。

（小学校は平成 30 年度補正予算にて工事費等 8 億 6,360 万円を計上）

防犯まちづくり 事業

予算額

8,450 万円



▲迷惑悪質電話防止装置を貸与します

自治会が設置する LED 防犯灯の設置費補助を引き続き行うほか、新たに、高齢者の振り込め詐欺などの被害防止を目的とした迷惑悪質電話防止装置の貸与を行います。

新たな公共交通 推進事業

予算額

1,730 万円



▲沼津駅から沼津港までを結ぶ EV バスの運行を実現します

既存の交通システムにとらわれない公共交通のあり方について研究を進め、EVバス車両導入費の補助、機能的でわかりやすいバスマップの作成、バス位置情報提供サービス活用に対する補助などにより、公共交通の利便性の向上と利用促進を図ります。

産後ママの リフレッシュ事業

予算額

130 万円



▲産前産後のサポートを進めます

生後 5 カ月までの乳児を持つ母親を対象に、産後のこころとからだのリフレッシュや交流の場を提供するため、ヨガやマッサージなどのリフレッシュメニュー体験を実施するほか、専門家による子育ての悩み相談を行います。

主な議案一覧

	議 案 名	内 容	議決結果
条 例	議第 7 号 沼津市総合計画基本構想の議決に関する条例の制定	■総合計画基本構想の策定等を議会の議決事件とします 沼津市総合計画の基本部分である基本構想の策定等を議会の議決事件とするものです。	可決
	議第 25 号 沼津市立勤労青少年ホーム条例の廃止	■勤労青少年ホームを、平成 30 年度末をもって廃止します 沼津市立勤労青少年ホームを廃止するものです。	可決
	議第 30 号 沼津市国民健康保険条例の一部改正	■国民健康保険料の賦課限度額を引き上げます 国民健康保険法施行令の一部改正に倣い、国民健康保険料の賦課限度額を引き上げるほか、医療給付費分における資産割及び被保険者均等割の賦課割合に関する規定を改めるものです。	可決
	議第 33 号 沼津市地域公共交通協議会条例の制定	■沼津市地域公共交通協議会を設置します 沼津市地域公共交通網形成計画の作成等を行うことを目的とし、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律及び道路運送法に基づき、沼津市地域公共交通協議会を設置するものです。	可決
予 算	議第 8 号 平成 30 年度沼津市一般会計補正予算（第 6 回）	■ 17 億 5,443 万 5,000 円を追加し、予算総額は 746 億 3,441 万 6,000 円となります 追加したものは、小学校施設空調設備整備事業費 8 億 6,360 万円、病院事業会計繰出金 5 億 5,000 万円、退職手当等の職員人件費 1 億 3,591 万 5,000 円が主なもので、財源としては、それぞれの特定財源のほか、一般財源として基金繰入金などをもって充てるものです。このほか、繰越明許費として自転車等駐車場整備事業 2,800 万円など 27 事業を翌年度に繰り越すほか、債務負担行為として技術顧問業務委託費など 116 件を追加するものです。	可決
人 事	認第 1 号 教育長任命の同意	平成 31 年 3 月 31 日をもって任期満了となる服部裕美子 ^{はっとり ゆみこ} 氏の後任として、駿東郡清水町長沢在住の奥村篤 ^{おくむらあつし} 氏を任命することについて同意するものです。	同意

☆このほかの議案については、沼津市議会のホームページをご覧ください。

[沼津市議会](#)

[検索](#)

会派別 賛否が分かれた議案一覧

○＝賛成 ×＝反対 ※（ ）内は所属議員数

	議 案 名	議決結果	志政会 (6)	市民クラブ (5)	自民沼津 (4)	公明党 (3)	改革めまづ (2)	沼津日本共産党 (2)	未来の風 (2)	無所属 (1)
条 例	議第30号 沼津市国民健康保険条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	×	○	○
予 算	議第34号 平成31年度沼津市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○×	×	×	○
	議第35号 平成31年度沼津市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	○	○
	議第36号 平成31年度沼津市土地取得事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○×	×	×	○
	議第39号 平成31年度沼津市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	○	○
発 議	発議第1号 地域環境と調和した太陽光発電設備設置に関する意見書	可決	○	○	○	○	○×	○	○×	○

市 政 に つ い て
問 う !

一般質問

「代表質問」

第十六回（二月）定例会では、市長の平成三十一年度施政方針に対する代表質問が行われ、七つの会派から質問がありました。

※代表質問は「一括質問一括答弁方式」で実施しています。



自 民 沼 津

久保田 吉光

問 本市と富士市との広域連携に向けた具体的な展望は。

答 市長／本市西部地区と富士市東部地区において、インフラや歴史・文化などのポテンシャルを生かし、発展を図ることは両市の活力あるまちづくりに大きく寄与するものと考えます。平成三十年には富士市長と会談を行い、行政の各分野における連携を進め、両市の繁栄につなげていくことなどを確認した。現在は、事務担当者間において検討を行っており、市長同士の二度目の会談を早い時期に開催したいと考えている。今後も協議を継続しつつ広域連携の強化に

努めていきたいと考えている。

問 小中学校の普通教室等へのエアコン整備を計画的に行うための市長の考えは。

答 市長／平成三十一年度は、全小中学校、静浦中学校、戸田中学校の教室合計三百五十八室の整備を予定するとともに、全中学校の整備に向けて実施設計を行う予定である。児童生徒の健康や生命を守るために一日でも早くエアコンを整備することは大変重要であると考えており、平成三十二年度までに全ての小中学校に整備していくことを目指し、教育委員会とともに取り組んでいく。

市長が目指す「誇り高い、元気なまち沼津」とは

問 新貨物ターミナルの用地取得については、土地収用法に基づく手続を進めているが、地権者を犠牲にしても進める鉄道高架事業が沼津の誇り高いまちづくりにつながる理由は。

答 市長／本事業は、本市全体の交通の円滑化に寄与するとともに、本市のすぐれたポテンシャルを十分に発揮でき、本市全体の経済活動の活性化に効果があると考えていることから、「誇り高い、元気なまち沼津」につながるものと捉えている。新貨物ターミナルの用地取得については、これ以上事業をおくらせることはできないとの考えから土地収用法の手

続を進めているが、今後の交渉においても地権者の思いを理解しながら誠意を持って取り組んでいく。

問 静岡東部拠点第二地区土地区画整理事業について、富士見町住民との懇談に対する認識は。

答 市長／本事業は本市にとって大変重要な事業と認識しており、鉄道高架事業とともに早期完了に向けて取り組んでいる。市長就任後は懇談の機会を持っていないが、事業推進に当たっては、富士見町住民の理解と協力がなければ進めることはできないと認識しており、今後、機会を見て対応していきたいと考えている。

新貨物ターミナルを原西部地区に移設する意義は

問 新貨物ターミナルを原西部地区に移設する意義は。

答 市長／現在の沼津貨物駅が担ってきた機能を維持、発展していくため、周辺の土地利用等との整合及び経済性などの観点から比較、評価した結果、本地区が最適であると判断し、都市計画決定されたものである。今後、広域交通アクセスの飛躍的な向上が期待される本地区は、新貨物ターミナルの整備に合わせ、物流業務等の進出が期待され、地域の発展に寄与していくものと考えている。

問 本市西部地域の発展に向けた具体的な取り組みは。

答 市長／本地域については、東駿河湾環状道路の西区間延伸など、交通の結節点としてのポテンシャルが高まっていることから、物流拠点化を考えている。また、都市基盤整備を進めつつ、美しい景観を保全、活用したまちづくりを進めていく。今後は、平成三十年度に開催したぬまづ地域デザインワークショップの提案や住民等の意見、土地利用の課題等を踏まえながら、本地域の活性化に資する取り組みを検討していく。



▲地域の特性を生かしたまちづくりについて検討したぬまづ地域デザインワークショップ

日 本 共 産 党 沼 津 市 議 団

川口 三男

未 来 の 風

殿岡 修

市民クラブ

しずおか自動運転ShowCASEプロジェクトとの連携は

問 静岡県が進めているしずおか自動運転ShowCASEプロジェクトについて、①本市はどのような連携を図っていくのか。②本プロジェクトと連携した新たな公共交通とはどのようなものを想定しているのか。

答 市長／①本プロジェクトは、都市部や過疎地において多様な交通課題がある中、自動運転がその課題解決の手段となり得るのか検証するものである。県が平成三十一年度の実証実験を行う際には、本市が平成三十一年度E.V.バスの試験運行を行った沼津駅から沼津港間を対象とするよう要請するとともに、地域にお

梶 泰久

ける安全性や受容性、にぎわいの相乗効果を検証するなど、新たな交通システムについての研究をしていきたいと考えている。②近年の公共交通利用者の減少や運転手不足などの課題に対応し、持続可能な公共交通としていくために、従来の交通モードだけでなく、E.V.バスや自動運転バスなどの新たな技術についても研究を進め、地域の特性に合った運営手法や運行形態を検証する必要があると認識している。このため、新たな交通モードの効果を検証する試験運行の実施や先進事例の研究などを引き続き行っていく。

改革ぬまづ

岩崎 英亮

定住人口確保に対する考えは

問 本市は中枢中核都市として選定されたが、今後の取り組みは。

答 市長／本市は、活力ある地域社会を維持するための中心、拠点であり、近隣市町を含めた地域社会の経済、生活を支え、東京圏への人口流出を抑止する機能を発揮することが期待される都市として中枢中核都市に選定された。現在、国において中枢中核都市への支援策等が検討されており、この動向に留意しつつ、中枢中核都市に関する各市の取り組み状況などについての情報収集や研究に努めていきたいと考えている。

問 定住人口確保のための考えは。

答 市長／本市に移住して住宅を取得した若者世帯への支援を初め、市内企業の魅力発信などによる若者のU・I・Jターン就職の推進や、起業セミナーの開催により、若い世代を呼び込み、本市のまちづくりに生かしていきたいと考えている。また、結婚を希望する人に対する出会いの支援を初め、妊娠、出産、育児、教育における切れ目のない支援など、さまざまな分野にわたる施策に総合的に取り組むことが重要であると認識しており、引き続き、多様な視点で、定住人口の確保を目指していきたいと考えている。

志政会

保育所や放課後児童クラブの待機児童対策は

問 保育所等の待機児童について、①現状と課題は。②具体的な対応は。

答 市長／①保育所等における待機児童は、平成三十一年一月時点で十一名であり、特定の地域に二一三が集中していることが本市の課題となっている。②二一三が集中している地域に対し、保育所等の整備を促進するなど、受け入れ人数の拡大を図るとともに、入所可能な施設の情報提供や丁寧な相談対応により、一刻も早い待機児童の解消に努めていく。

問 放課後児童クラブの待機児童について、①現状と課題は。②具体的な対応は。

答 市長／①放課後児童クラブの待機児童が特定の小学校において発生しており、これらの小学校には放課後児童クラブ増設のための余裕教室や家庭等の敷地の確保が難しいという課題がある。②平成三十一年度においては、原小学校の敷地内に二クラブ四十名分を、門池小学校は校舎の工事の進捗を踏まえ校舎内に二クラブ八十名分を増設することとで、両学校の待機児童は解消できる見込みである。



▲放課後児童クラブの様子

渡邊 博夫

公明党

片岡 章一

第4次沼津市総合計画の進捗状況は

問 第四次沼津市総合計画の進捗状況に対する認識は。

答 市長／平成二十九年年度末時点において、後期推進計画に掲げる主要七十事業のうち、完了、計画以上進捗、ほぼ計画どおりの進捗となった事業は全体の四分の三の五十二事業であり、計画通りの進捗が図られていると認識している。また、政策の達成度を検証する三十のまちづくり指標のうち、十三指標においては策定時の基準を上回る一方、十七指標においては基準値を下回る状況となっている。本総合計画において、交流人口の拡大などに関しては一定の

成果が見られるが、定住人口の確保については、若者世代やファミリー層の転出超過が見られ、努力が必要な状況であると認識している。

問 第五次沼津市総合計画の策定はどのように進めていくのか。

答 市長／第四次沼津市総合計画や沼津市まち・ひと・しごと創生総合戦略における現時点での評価や指標の到達度を分析、調査した上で、本市の強みや弱みをしっかりと捉え、また、テクノロジーの進展などの社会経済環境の変化を踏まえながら、今後十年間を見据えた計画の策定に取り組んでいきたいと考えている。

議員名	主な質問項目	掲載頁
水口 淳	県道沼津土肥整備促進、戸田造船郷土資料博物館 50 周年記念事業	8
霞 恵介	高齢者の健康と福祉、2025 年問題を控えて	8
深田 昇	障害福祉サービスの課題、計画相談、放デイ、高校卒業後の居場所	9
鈴木 秀郷	市役所庁舎等の管理	9
加藤 明子	民法改正による成人式の方角性、ふるさと納税制度	9
小澤 隆	官民連携アプリ、我入道の文化財収蔵庫	9
城内 務	避難所、体育館エアコン、新体力テスト、スポーツ実施率	10
梅沢 弘	民意の根拠、鉄道高架訴訟、330 億円の市債発行、高校生議会	10
中田 孝幸	地震津波対策、防潮堤の効果・整備費、防潮堤と鉄道高架	10
江本 浩二	温室効果ガスの削減	10

※議員名の下に「形式」として質問形式を記載しています。

- 一括：通告した全ての内容を一括して質問した後、市当局が一括して答弁する方式
- 一問一答：議員からの一つ一つの質問ごとに、市当局が答弁する方式
- 複合：1 回目は一括で行い、2 回目以降から一問一答に切り替えて行う方式

市政について 問う！

一般質問

第十六回（二月）定例会
では、十人の議員が市政
について質問しました。

2025 年問題に対する 本市の取り組みは

問 高齢者の生活形態を鑑みると、医療と介護の連携推進が重要と考えるが、現在と今後の取り組みは。

答 福祉事務所長 沼津市在宅医療・介護連携推進協議会を設置し、委員として、民生委員、児童委員、医師会、歯科医師会、介護サービス事業関係者、自治会連合会等に参加してもらうとともに、医師会と共催で講演会を実施するなど、在宅医療と介護のあり方への認識を深める取り組みを進めている。今後とも、地域包括支援センターが開催している地域ケア会議で示された課題等の解決に向けて、関係者に対応策の検討

を行い、多職種協働による在宅医療・介護を一体的に提供できる体制づくりを進めていく。

問 二〇二五年問題を見据えた、介護施設供給不足への対応は。

答 福祉事務所長 高齢者保健福祉計画の中で、計画期間内に必要な施設の数を示すとともに、三年ごとに計画を見直し、施設の需要と供給のバランスが図られるよう努めている。また、在宅での介護体制づくりの取り組みもあわせて進めているところであり、今後とも必要となる介護施設等の把握と、多様なサービスの提供体制の強化を進めていく。

県道沼津土肥線の整備促進を

問 県道沼津土肥線は、戸田地区の住民の生活道路としてだけではなく、半島地域や本市全体の観光振興にも大きく寄与する道路であり、早期の整備が必要と考えるが、①平成三十九年度の県への要望活動の内容は。②平成三十一年度の県の整備計画内容と整備に対する本市の認識は。

答 建設部長 ①平成三十年八月の沼津市建設事業要望では、本市重点要望の一つとしたほか、十月に実施した、市長が会長を務める沼津・土肥間道路整備促進期成同盟会要望には、戸田、三浦地区の各連合自治会長が同行し、地元の声を直接届ける

等、要望活動を行った。②県の整備方針により、交通量の多い沼津市街に近い区間から順次整備を進めており、平成三十一年度も、西浦地区の五カ所で整備を進めていく予定と聞いている。本道路は、地域住民の生活道路のみならず、風光明媚な観光道路であるとともに、戸田地区の振興を図る上でも重要な道路であることから、引き続き、全線における円滑な交通の早期確保を、県へ働きかけていきたいと考えている。



▲道路拡幅工事などが行われている
県道沼津土肥線

霞 恵介 形式 一問一答

水口 淳 形式 複合

行政財産の有効活用による 自主財源確保は

問 自主財源の確保を図るための行政財産の活用について、本市の認識と庁舎管理面での取り組みは。

答 財務部長／平成十八年の地方自治法の改正により、行政財産の貸付規定が見直されたことで、貸し付けが可能な市庁舎等の余剰スペースの有効活用を推進し、自主財源の確保を図ることは、行政運営において重要な視点であると認識している。現状においては、民間事業者との貸付契約による自動販売機の設置などを行うことで、自主財源の確保に努めている。

問 自動販売機の設置による歳入の確保について、①設置台数と平成二十九年度の歳入額は。②貸付事業者を選定する際の公平性や中立性の確保は。

答 財務部長／①市庁舎や体育館等二十三施設において、施設所管課が設置している自動販売機は、合計で四十六台であり、これによる平成二十九年度の歳入額は、約千五百九十九万円である。②事業者の選定は、沼津市自動販売機の設置に係る行政財産の貸付けに関する要綱の規定により、一般競争入札の方法によるものとし、公平性及び透明性の確保を図っている。

障害福祉サービスを取り巻く 課題の解決を

問 障害福祉サービスの利用に当たって、指定特定相談支援事業所が作成したサービス等の利用計画ではなく、利用者や家族などが作成したセルフプランによってサービスを受ける利用者に対する支援は。

答 福祉事務所長／必要に応じて障害福祉課や総合相談支援センターの職員がセルフプラン作成の支援を行っている。また、支給決定時と毎年の更新時に職員がサービス内容や支給量の妥当性をチェックし、特にモニタリングを行う必要性が高い場合は、相談支援事業所と市で構成する連絡会の中で協議をし、計画相談で

の支援を行っている。

問 障害福祉サービスを取り巻く諸課題への対応は。

答 福祉事務所長／現状では、本市における事業者の障害福祉サービスへの参入状況は、活発な部分と占められている部分の差が大きくなっている。そのため、当事者団体や事業者関係機関等により組織する沼津市障害者自立支援協議会の連携を生かして、利用者ニーズと事業者によるサービスの提供を的確に把握し、柔軟な対応が図られるよう、国や県等の動向も注視しつつ、さらなる体制強化に努めていきたいと考えている。

深田 昇 形式 一問一答

我入道の文化財収蔵庫の今後は

問 我入道の文化財収蔵庫は、映画「ラブライブ！サンシャイン!! The School Idol Movie Over the Rainbow」において、重要なシーンの舞台となっており、重要なシーン巡礼として現地を訪れる観光客が多いと認識しているが、今後の建物の保存や維持管理は。

答 教育次長／我入道の文化財収蔵庫は、昭和十一年に赤坂区沼津学園の養護学校として建設されたもので、昭和五十四年に東京都港区から譲り受け、平成八年までは、沼津市文化財センターとして、それ以降は文化

財収蔵庫として使用してきた。収蔵庫内の考古資料は、静浦西小学校跡に整備した文化財センターへの移転を進めており、平成三十一年度中には、収蔵庫としての機能の移転を完了する予定となっている。建物が老朽化していることから、現在は、安全管理上、敷地内への立ち入りができないように措置を講じており、収蔵庫機能移転後については、利活用を含め、今後、検討していく。



▲映画の中に登場する我入道の文化財収蔵庫

小澤 隆 形式 一括

成人年齢引き下げ後の 成人式のあり方は

問 民法改正による成人年齢引き下げ後の成人式について、名称をはたちの集いに変えるなどして、従来どおり二十歳を対象に実施すべきと考えるが、本市の方針は。

答 市長／対象年齢については、現在、教育委員会において地域住民の意見を聞いており、また、自治会連合会から、二十歳を対象に成人式を開催してほしい旨の要望書が提出されたほか、市民から同様の声も多く、混乱を避けるためにも早期に結論を出す必要があると考えている。対象を十八歳とした場合、受験や就職などの時期と重なり負担が大きいこと

などから、対象年齢は現行のままとする方向で教育委員会及び地域住民と調整し、早急に成人式のあり方について報告したいと考えている。

問 本市のふるさと納税のさらなる拡充は。

答 産業振興部長／本市は豊富な地域資源に恵まれていることから、今後は、アクティビティーと宿泊プランを結びつけた着地型旅行商品、改元や静岡デスティネーションキャンペーンの機会を捉え沼津御用邸記念公園を活用した返礼品など、地域性や話題性に富んだ返礼品の開発に取り組んでいく。

加藤 明子 形式 一括

沼津駅周辺総合整備事業への市債発行 に対する評価と認識は

問 沼津駅周辺総合整備事業の実施に当たり、本市の財政規模と比較して、新たに三百三十億円の市債を発行することに対する評価と認識は。

答 沼津駅周辺整備部長／市債の借り入れについては、事業期間の二十年間において事業の進捗に合わせて順次行い、償還期間の二十年間を含め、四十年間で返済していく計画であるため、一年間の予算額と市債の合計額を単純に比較することは妥当でないと考えている。また、四十年間における一年当たりの平均実質負担額は、九億一千万円であり、本市の財政規模に照らし合わせても、決

問 市長が、鉄道高架事業の完成を待ち望む多くの市民の声があるとする根拠は。

答 沼津駅周辺整備部長／平成三十年四月の沼津市長選挙では、本事業が明確な争点となり、鉄道高架推進派の得票数は反対派を多く上回ったことから、鉄道高架によるまちづくりが支持されたものと認識している。また、都市計画決定等の手続を経て既に事業着手し、用地取得は全体で九割に達していることなどから、本事業の推進について多くの市民の賛同を得ているものと認識している。

地区防災計画、防災士の育成に対する 認識は

問 防災対策について、地区防災計画制度と、防災士の育成に対する本市の認識は。

答 危機管理監／本計画は、災害対策基本法に基づき、地域住民等が自助、共助の観点から地域の防災活動について定めるものである。そのため、継続して取り組むことにより、計画作成が地域活動の定着につながることから、防災を基軸とした地域活動の活性化において、非常に意義のあるものと認識している。防災士には、防災指導員とともに地域の防災活動を牽引する役割が期待できると認識しているため、育成に当たり、

問 沼津市スポーツ推進基本計画に対する評価と、計画の見直しに対する認識は。

答 教育次長／本計画による取り組みの結果、継続的にスポーツを行う成人の割合の増加など、一定の効果が得られたと認識している。本計画の見直しについては、平成三十年度に実施した各事業の点検や市民アンケート、新体力テストの結果等を踏まえ、計画策定時に諮問を行った沼津市スポーツ推進審議会の意見を聞き、検討していきたいと考えている。

城内 務 形式 一問一答

梅沢 弘 形式 一問一答

温室効果ガス削減の実績は

問 温室効果ガスの削減について、本市の事務事業と、市域における実績は。

答 生活環境部長／本市の事務事業においては、基準年度である平成二十六年に對し、平成二十九年の実績は、市長部局では約十一％、教育委員会部局では約六％の削減となった。市域においては、平成二十三年三月の東日本大震災により、二酸化炭素を多く排出する火力発電の比重が高まった影響を受け、目標を下方修正したが、直近のデータである平成二十六年と基準年度である平成二十二年を比較し、約二％の削減と

問 新中間処理施設においては、ごみの処理量がふえるにもかかわらず、二酸化炭素排出量を削減できるとする理由は。

答 生活環境部長／環境省が定めた廃棄物処理部門における温室効果ガス排出抑制等指針マニュアルを用いた試算では、設備更新による電気機器の処理効率の向上により、助燃剤使用量が減少することで二酸化炭素排出量が削減できる見込みであり、発電設備設置等の他の設備更新と合わせて二酸化炭素排出量を削減できると考えている。

江本 浩二 形式 一問一答

地震津波対策における基本的認識は

問 本市の地震津波対策における基本的な認識は。

答 危機管理監／本市では、沼津市地震・津波対策アクションプランにより、人的被害の最小化を目指すべく、さまざまな取り組みを進めており、平成三十年度は、津波浸水想定区域に点在する避難困難地区の解消を図るための対策を検討してきた。今後は、このような対策を効果的に実施しながら、人的被害ゼロを目指していきたいと考えている。

問 防潮堤の整備は防災の骨格を形成するものであり、安全なまちづくりに不可欠と考えるが、次期沼津市

総合計画に位置づける考えは。

答 危機管理監／本市の総合計画は、市民と行政の共通の目標となる本市の将来像と、それを実現するためのまちづくりの方針を明らかにするものであり、防災対策についても、まちづくりの一環として基本的な考え方を示していくことになる。防潮堤整備に関しては、まずは、その是非について、各地区の意見集約の取り組みを進めることが必要であると考えており、整備の効果と整備による日常生活への影響等を踏まえながら、総合的に検討すべき重要な課題であると認識している。

中田 孝幸 形式 一問一答

意見書

この意見書は、平成 31 年 3 月 18 日に可決された後、関係官庁等へ送付しました。



※意見書とは、市だけの努力では解決できない公共の利益に関する問題について、市議会の意思をまとめて国や県に要望するものです。

地域環境と調和した太陽光発電設備設置に関する意見書

電力は国民生活にとって欠かすことのできないものであり、福島第一原子力発電所の事故以降、太陽光発電といった再生可能エネルギーの導入拡大など、電力の需給構造の改革が求められており、国においては再生可能エネルギー発電による固定価格買取制度を導入するなどしてその普及促進に取り組んでいる。

しかしながら、近年、地域住民との十分な関係が構築されないまま太陽光発電事業が進められ、自然や景観の破壊への懸念を持つ地域住民と太陽光発電事業者との間で関係が悪化する等の問題が全国各地で生じている。

このような状況に鑑み、国は事業者に対し関係法令の遵守を義務づける等の制度改革を行ったが、現行の土地利用規制等に関する関係法令では、太陽光発電設備の設置に伴う景観や環境及び防災上におけるさまざまな問題に十分対応しきれていない。

また、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法（以下、「法」という。）においても、事業者が法の認定基準を遵守し、適正に発電設備を設置しているか確認する体制や、発電事業終了後の太陽光パネル等の適切な撤去、処分を担保する仕組みが十分には整備されていない。

よって国においては、地域環境と調和した太陽光発電設備の適切な設置に向けて、下記の事項に取り組むよう強く要望する。

記

- 1 太陽光発電設備について、景観、環境及び防災上の観点から適正な設置がされるよう、立地の規制等に係る関係法令の整備を図ること。
- 2 一定規模以上の発電設備設置に当たっては、地元市町村長から意見聴取を行った上で事業計画を認定するよう、制度改革を行うこと。
- 3 太陽光発電設備が法の認定基準に従い適正に設置されているか、国が責任を持って確認すること。
- 4 発電事業終了時や事業者が経営破綻した場合、太陽光パネル等の撤去及び処分が適切かつ確実に行われる仕組みを構築すること。

第4回 臨時会 開催

「沼津駅鉄道高架事業の是非を問う住民投票条例の制定」



第4回臨時会は、1月31日に開会し、2月5日までの6日間にわたり開催しました。この臨時会では、「沼津駅鉄道高架事業の是非を問う住民投票条例の制定」等4件を審議しました。

「沼津駅鉄道高架事業の是非を問う住民投票条例の制定」は、住民直接請求による制定請求があったもので、市長の「条例制定の必要はない」との意見をつけて議会に付議されました。

本議案は建設水道委員会に付託され、2月1日に行われた委員会では、請求代表者2人が出席し、意見陳述を行うとともに、委員からの質疑に答えました。その後、議案に対する質疑、討論、採決が行われ、本議案は否決すべきものと決しました。

2月5日に行われた本会議では、建設水道委員会委員長から、委員会での審査の経過と結果について報告が行われました。委員長報告に対する質疑の後、討論が行われ、賛成、反対の立場からそれぞれ意見が表明されました。採決の結果、起立者少数により本議案は否決されました。

【会派別の賛否】

「○」＝賛成 「×」＝反対

※（ ）内は所属議員数

議 案 名	議決結果	志政会 (6)	市民クラブ (5)	自民沼津 (4)	公明党 (3)	改革ぬまづ (2)	沼津日本共産党 (2)	未来の風 (2)	無所属 (1)
議第1号 沼津駅鉄道高架事業の是非を問う住民投票条例の制定	否決	×	×	×	×	○×	○	○	×

※臨時会の会議録は、沼津市立図書館、市役所3階議会図書室で閲覧可能なほか、沼津市議会HPでもご覧いただけます。





原小学校
6年
つちやみお
土屋美音さん



西浦小学校
6年
いしわた あきら
石渡 旭さん



ぼくの将来の夢

みんなが力を合わせて作った映画のインドロールに、自分の名前がのることがぼくの夢です。四年生の時に見た映画がとても面白くて、エンディングソングを聴きながら何気なくインドロールをすべて見たとき、一人一人の名前が出てくることに気がきました。一つの作品をみんなで作る上げ、一瞬でも自分の名前が残ることがぼくにはとても格好良く思えました。具体的に何を勉強すれば良いのか、今はまだ分かりません。でも、映画や映像に関わる仕事ができるように、専門的な勉強を頑張っていきたいです。

スマイルNO.1

私の宝は、笑顔だ。笑顔でいるとみんなが笑顔になり空気が明るくなる。そして何事も乗り越えられる。笑顔はそんな力を持っている。だから私は、毎日笑顔で過ごしている。私は、友達に暗い顔をしている時笑顔にする。笑顔な顔を見るとうれしい。みんなが笑顔で過ごしていると楽しい。もっともっと笑顔の力を広めたい。いろんな人に知ってもらいたい。そのためには、毎日笑顔で過ごしたくさんの人を笑顔にしていくなが必要だ。笑い合える友達をもっと増やしたい。

沼津市議会 定例会の予定

定例会	開会予定日	閉会予定日
令和元年 第1回(6月)	6月 7日(金)	6月 28日(金)
令和元年 第2回(9月)	9月 13日(金)	10月 16日(水)
令和元年 第3回(11月)	11月 26日(火)	12月 17日(火)
令和2年 第4回(2月)	2月 10日(月)	3月 19日(木)

※都合により変更する場合があります。

※詳細は、招集告示日(各定例会開会日1週間前ごろ)の議会運営委員会で協議されます。



※上記定例会のほか、任期満了に伴う議員の改選が行われたことにより、新たな議会の組織を決める臨時会が5月中旬に開催される予定です。

議会だよりへの御意見・御感想をお聞かせください



御意見・御感想は、郵送、電話、FAX、Eメール等でお寄せ下さい。(本紙左端参照)

委員会レポート

各委員会から報告が行われました

4 常任委員会の所管事務調査報告、議会活性化等特別委員会の調査報告及び沼津駅鉄道高架事業推進特別委員会の活動状況報告がそれぞれまとまり、各委員長が本会議で報告を行いました。

4 常任委員会の特定調査事項

総務委員会	街頭防犯カメラの活用について
文教産業委員会	ICT 教育の推進による学習環境の整備について
民生病院委員会	手話の普及について
建設水道委員会	上下水道事業の官民連携について

特別委員会の報告

議会活性化等特別委員会	・議会報告会の開催に関すること ・議会の ICT 化の推進に関すること ・その他議会活性化に関すること
沼津駅鉄道高架事業推進特別委員会	平成 27 年度から4年間の活動状況の報告

議会だより編集委員会

委員長 高橋 達也 委員 尾藤 正弘 委員 霞 恵介 委員 岩崎 英亮
副委員長 片岡 章一 委員 小澤 隆 委員 江本 浩二 委員 中田 孝幸